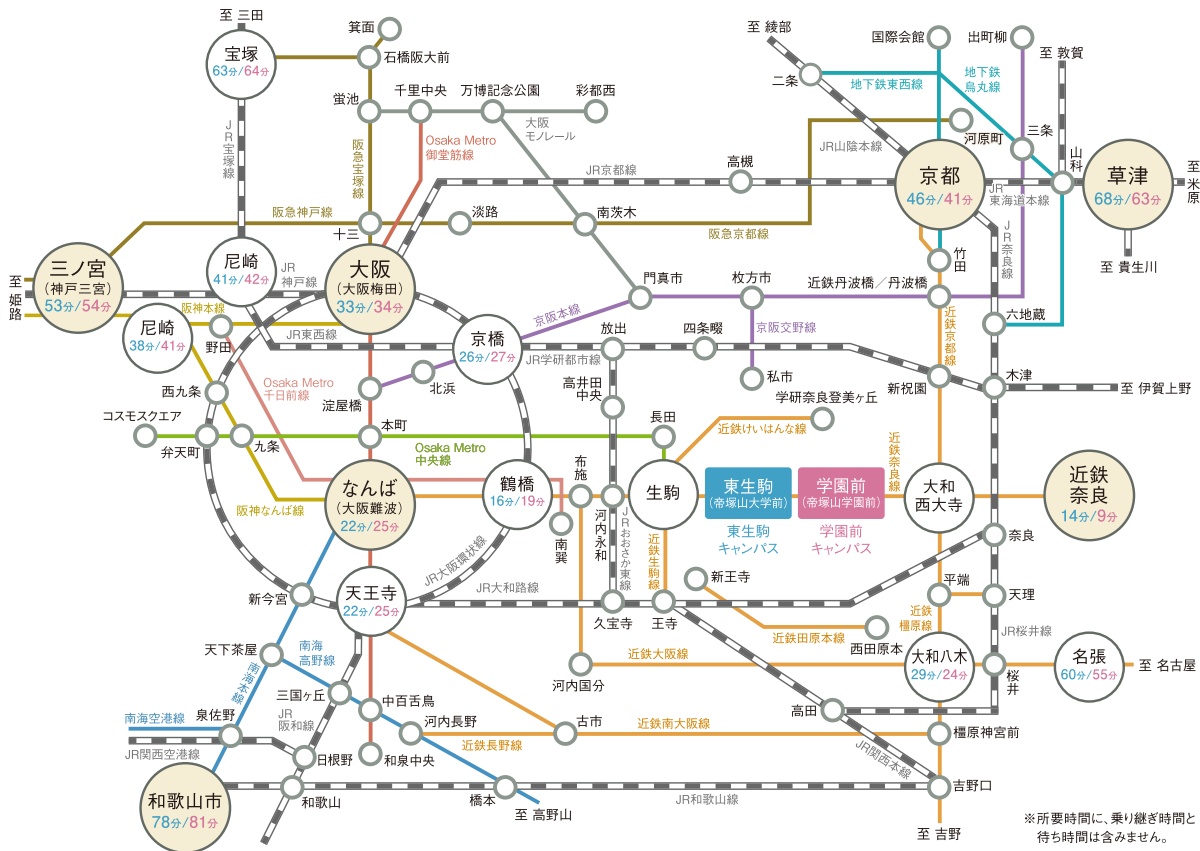


18 交通アクセス

大阪・神戸・京都・和歌山からも快適なアクセス

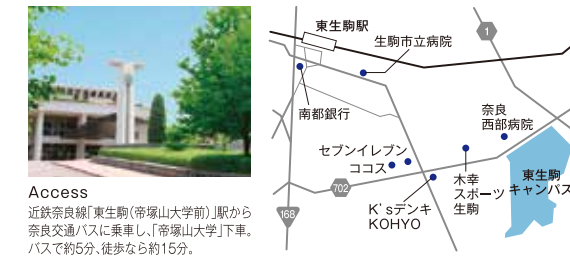
両キャンパスとも、大阪からも京都からもわずか1時間圏内。
神戸や和歌山からでも、通学は十分可能です。



東生駒キャンパス

〒631-8501 奈良市帝塚山7-1-1 TEL:0742-48-9122(代表)

- 経済経営学部／経済経営学科
- 文学部／日本文化学科 ●法学部／法学科



Access
近鉄奈良線「東生駒(帝塚山大学前)」駅から徒歩約5分、徒歩なら約15分。

学園前キャンパス

〒631-8585 奈良市学園南3-1-3 TEL:0742-41-4716(代表)

- 心理学部／心理学科 ●教育学部／こども教育学科
- 現代生活学部／食物栄養学科 ●現代生活学部／居住空間デザイン学科



Access
近鉄奈良線「学園前(帝塚山学園前)」駅から徒歩約1分。

本冊子に掲載のデータは、注記のない限り、2023年5月1日現在のものです。



本冊子に関する
お問い合わせは

入試広報課 0742-48-9149(広報専用)
E-mail:koho@jimui.tezukayama-u.ac.jp
https://www.tezukayama-u.ac.jp
【編集・発行】 帝塚山大学 入試広報課 2023年6月発行



学校法人帝塚山学園 帝塚山大学大学院 帝塚山大学 帝塚山高等学校 帝塚山中学校 帝塚山小学校 帝塚山幼稚園 帝塚山2歳児教育

FACT BOOK
2023

帝塚山大学
TEZUKAYAMA UNIVERSITY

Contents

P.01	01 帝塚山学園 建学の精神	P.05	10 教職員数
	02 帝塚山大学の理念(設置の趣旨)		11 国際交流
	03 帝塚山大学の教育理念	P.06	12 課外活動
P.02	04 歴代学長		13 資格取得
	05 帝塚山大学 沿革	P.07	14 就職
P.03	06 キャンパス	P.08	15 学術・情報
	07 教育研究組織	P.09	16 研究
P.04	08 学生数	P.10	17 地域連携
	09 学生出身地	P.11	18 交通アクセス



実学の帝 塚山大学

01 帝塚山学園 建学の精神

「社会に有為な人材を育成する」

帝塚山学園は、初代理事長・山本藤助氏個人と、山本藤助理事長が関係する団体及び大阪電気軌道株式会社（現在の近畿日本鉄道株式会社）等からの浄財の寄付により創立され、昭和16年（1941年）2月28日付で、文部大臣より、財団法人帝塚山学園の設置認可を受けました。

建学の精神は、学園の憲法とも言うべき寄附行為第3条の「教育の目的」に定められています。それは、「国家有為ノ国民ヲ練成スルヲ以テ目的トス」であり、当時の社会背景のもと、

国家の負荷に任すべき国家有為の国民を練成するためのものでありました。

その後、昭和25年（1950年）に私立学校法が施行され、これに伴い、学園の組織は、財団法人から学校法人に変更認可されました。組織の変更を機に、寄附行為第3条の教育の目的も変更、さらにその後加筆され、現在は「この法人は、教育基本法、学校教育法及び私立学校法に従い、学校教育を行い、社会に有為な人材を育成することを目的とする」と謳われています。

02 帝塚山大学の理念（設置の趣旨）

本学は、教育基本法並びに学校教育法に基づき、広い国際的視野の上に、日本人としての深い自覚と高い識見を持ち、社会の要請に応え得る教養と創造力を備えた人材を育成するために、これに適する学問を教授研究することを目的とする。

【学則第3条】



03 帝塚山大学の教育理念

- 1) 広い国際的視野の上に日本の伝統・文化・社会に対する深い理解と幅広い教養を身につけ、
- 2) 社会の要請に応える専門知識と創造力・実践力を備えるとともに、
- 3) 地域と国際社会に貢献することのできる人材の養成

学園章・校章



帝塚山学園が、1941年、今のあやめ池駅近くに新しい校地を求めて旧制中学校を開設したとき、美しいアカマツ林に囲まれた環境にちなみ、松の葉とまつかさ、「帝」の文字をあしらった学園章が制定されました。赤松の持つ力強さと風雪に耐える永遠性、成長と結実、円があらわす円満と完結などの理想を象徴しています。2000年度に校章の見直しが行われ、学園章を校章として使用することになりました。

シンボルマーク



2000年度に、学生の投票により選ばれたシンボルマーク。大学の自由で明るく元気な学生を表現したもの。「知性と判断力」を表すブルーと「思慮深さ」を表すパープルで学生の瞳を、「夢と希望」を表すピンクで輪郭を表現。「親密さと好奇心」を表すオレンジで、髪の毛を表しています。

04 歴代学長

1964 - 1973	初代	森 儀吉	1996 - 1998	第9代	小泉 進
1973 - 1975	第2代	渡辺 宗太郎	1999 - 2001	第10代	岩井 宏實
1976 - 1978	第3代	猪谷 文臣	2002 - 2004	第11代	石澤 末三
1979 - 1981	第4代	音田 正巳	2005 - 2007	第12代	松岡 博
1982 - 1987	第5代	内山 龍雄	2008 - 2011	第13代	山本 良一
1988 - 1990	第6代	畠山 英夫	2012 - 2016	第14代	岩井 洋
1991 - 1992	第7代	岡部 健彦	2017 - 2022	第15代	蓮花 一己
1993 - 1995	第8代	森永 道夫	2023 -	第16代	奥村 由美子



子供や若い人達に学園の空 帝塚山大学 初代学長 森 儀吉

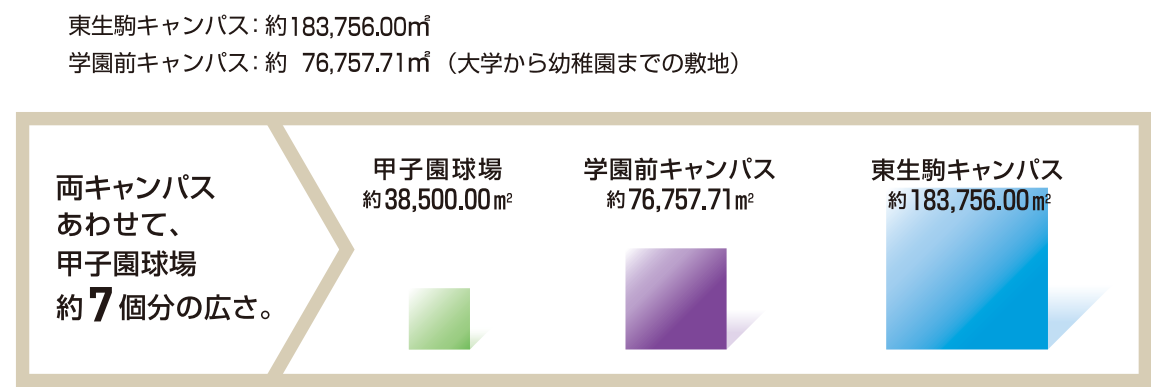
05 帝塚山大学 沿革

- 1964年 帝塚山大学 開学（教養学部 教養学科の女子単科大学）
- 1982年 帝塚山考古学研究所 設置（1997年～帝塚山大学考古学研究所に組織変更）
- 1987年 経済学部 経済学科 設置（全学男女共学化）
- 1991年 大学院 経済学研究科 経済学専攻（修士課程）設置
- 1992年 帝塚山大学経済経営研究所 設置
帝塚山学園芸術文化研究所 設置（2000年～帝塚山大学芸術文化研究所、2006年～帝塚山大学奈良学総合文化研究所に組織変更）
帝塚山学園人間環境科学研究所 設置（2000年～帝塚山大学人間環境科学研究所に組織変更）
- 1993年 経済学部 経営情報学科 設置
大学院 経済学研究科 経済学専攻（博士後期課程）設置
- 1996年 大学院 人文科学研究科 日本伝統文化専攻（修士課程）設置
- 1997年 法政策学部 法政策学科 設置
- 1998年 経済学部経営情報学科を経営情報学部 経営情報学科に改組
大学院 人文科学研究科 日本伝統文化専攻（博士後期課程）設置
- 1999年 教養学部を人文科学部に改組
人文科学部 日本文化学科・英語文化学科・人間文化学科 設置
- 2000年 帝塚山短期大学を帝塚山大学 短期大学部に組織変更
- 2001年 大学院 法政策研究科 世界経済法制専攻（修士課程）設置
- 2003年 大学院 法政策研究科 世界経済法制専攻（博士後期課程）設置
- 2004年 人文科学部 人間文化学科および短期大学部を改組し、
心理福祉学部 心理学科・地域福祉学科および
現代生活学部 食物栄養学科・居住空間デザイン学科 設置
帝塚山大学附属博物館 設置
- 2005年 帝塚山大学 心のケアセンター 設置
- 2006年 法政策学部 法政策学科を法政策学部 ビジネス法学科・公共政策学科に改組
現代生活学部 食物栄養学科に管理栄養士養成課程を開設
大学院 人文科学研究科 臨床社会心理学専攻（修士課程）設置
- 2009年 現代生活学部 こども学科 設置
人文科学部を人文科学部に、同学部英語文化学科を
英語コミュニケーション学科に名称変更
- 2010年 法政策学部 ビジネス法学科・公共政策学科を法学部 法学科に改組
- 2011年 心理福祉学部 心理学科・地域福祉学科を心理学部 心理学科に改組
- 2012年 経営情報学部 経営情報学科を経営学部 経営学科に名称変更
大学院 人文科学研究科 臨床社会心理学専攻（修士課程）を大学院
心理科学研究科 心理学専攻（博士前期課程・博士後期課程）に改組
- 2014年 大学開学50周年
文学部を文学部に名称変更
文学部 文化創造学科 設置
- 2018年 経済学部 経済学科・経営学部 経営学科を経済経営学部 経済経営学科に改組
- 2019年 現代生活学部こども学科を教育学部 こども教育学科に改組
- 2020年 帝塚山大学子育て支援センター 設置（学部附置から大学附置に組織変更）

06 キャンパス

帝塚山大学は、東生駒キャンパスと学園前キャンパスの2キャンパスを有しています。
大阪や京都からもアクセスの良い両キャンパスで、特色ある教育研究活動を展開しています。

キャンパス面積



07 教育研究組織



08 学生数

奈良県下最多の学生・大学院生が在籍しています。
50年を超える歴史がある大学だからこそ、卒業生数は近畿でも有数の規模です。

総卒業生数 **35,314人**

在籍者数一覧表(学部生) (人)

学 年	1 年			2 年			3 年			4 年			総合計		
学 部 ・ 学 科	男子	女子	合計	男子	女子	合計	男子	女子	合計	男子	女子	合計	男子	女子	合計
文学部 日本文化学科	45	39	84	36	54	90	45	65	110	68	66	134	194	224	418
経営学部 経営学科	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	0	1	1	0	1
経済経営学部 経済経営学科	121	40	161	137	50	187	149	52	201	187	45	232	594	187	781
法学部 法学科	39	11	50	64	18	82	66	23	89	74	32	106	243	84	327
心理学部 心理学科	34	83	117	32	71	103	27	87	114	53	76	129	146	317	463
現代生活学部 食物栄養学科	16	68	84	18	91	109	17	98	115	18	92	110	69	349	418
現代生活学部 居住空間デザイン学科	33	24	57	28	44	72	31	44	75	36	44	80	128	156	284
教育学部 こども教育学科	15	41	56	19	82	101	20	75	95	40	64	104	94	262	356
合 計	303	306	609	334	410	744	355	444	799	477	419	896	1,469	1,579	3,048

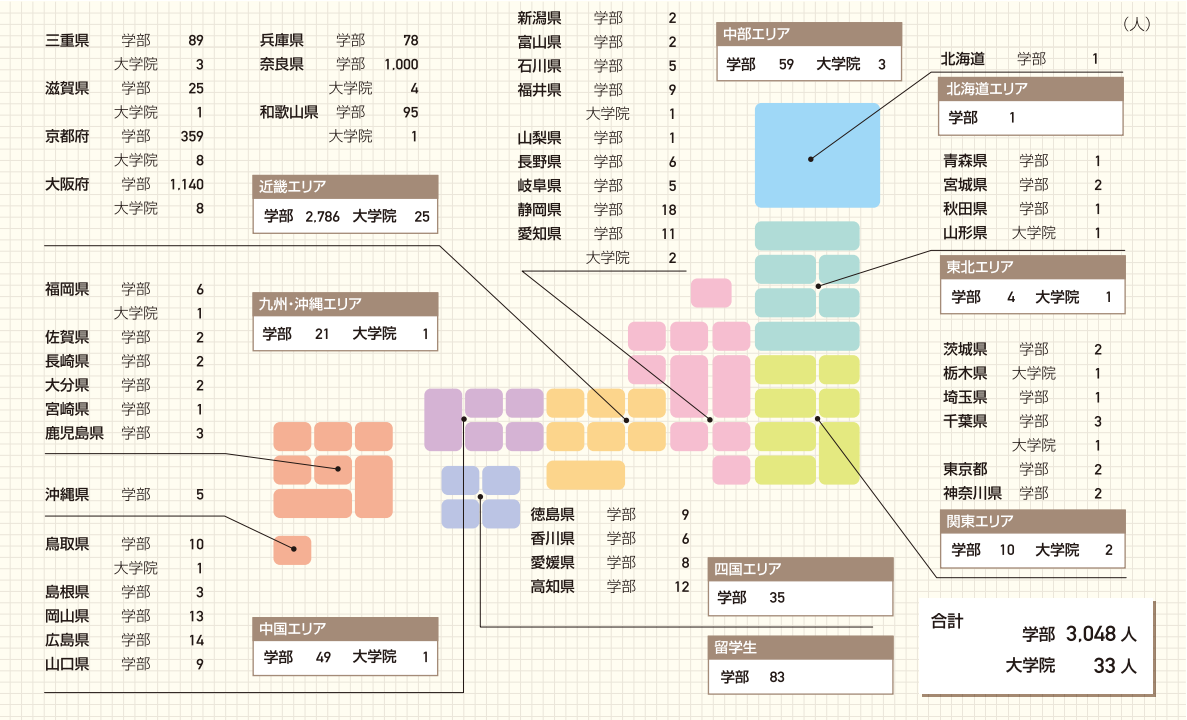
在籍者数一覧表(大学院生) (人)

研究科・専攻	男子	女子	合計
人文科学研究科 日本伝統文化専攻 博士前期課程	6	2	8
心理科学研究科 心理科学専攻 博士前期課程 心理学専修	1	1	2
心理科学研究科 心理科学専攻 博士前期課程 臨床心理学専修	5	13	18
人文科学研究科 日本伝統文化専攻 博士後期課程	2	2	4
心理科学研究科 心理科学専攻 博士後期課程	1	0	1
合 計	15	18	33

学部生 **3,048人**
大学院生 **33人**

09 学生出身地

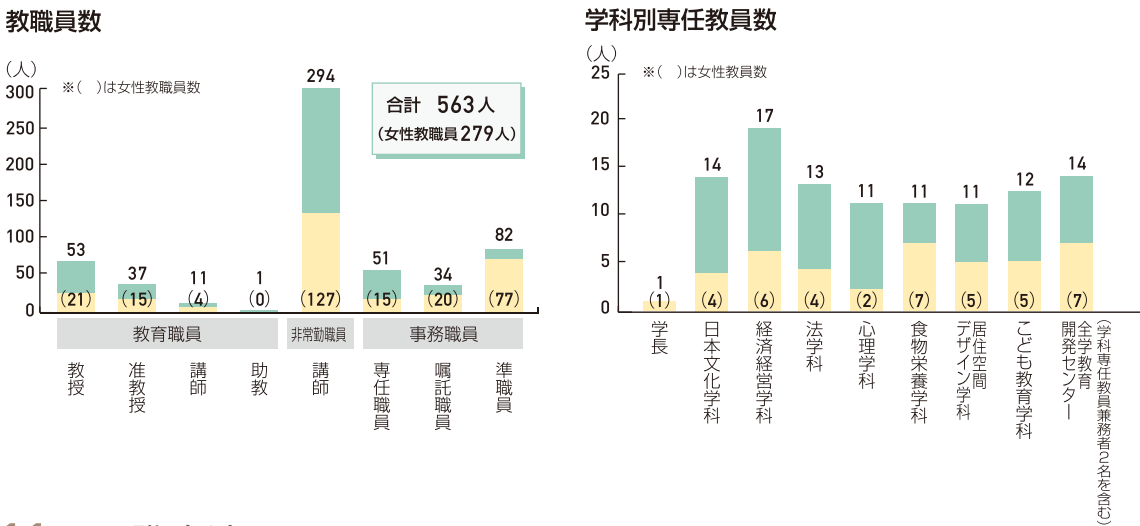
近畿地区を中心に全国から学生が集まっています。
出身エリア



10 教職員数

帝塚山大学で働くスタッフは、563人。

- 563人の教職員が在籍。うち教育職員が、102人。教員一人あたりの学生数は、29.9人です。



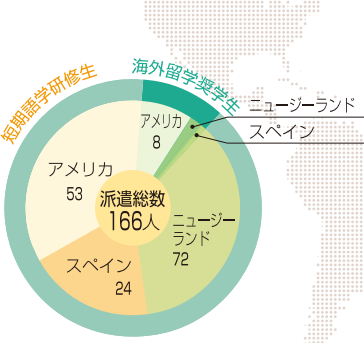
11 国際交流

アジアの拠点として、海外協定大学との交流を積極的に推進。

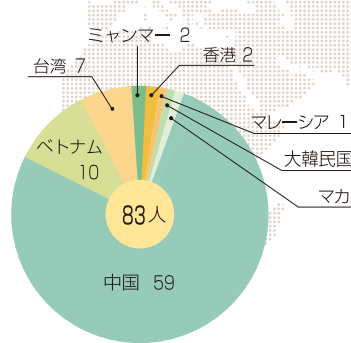
- 国際交流のプログラムとして、「海外留学奨学生(正規留学:1年 語学留学:6ヵ月)」、「海外短期語学研修(約1ヵ月)」を導入。
- ヨーロッパ、北米、アジア、オセアニアの5ヵ国にある12大学と協定を締結。
- 過去10年間の海外留学生派遣数は166人。



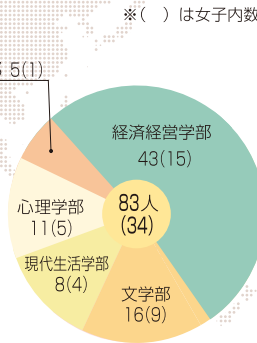
過去10年間の海外留学生派遣数



国・地域別学部留学生在籍者数



学部別留学生在籍者数



12 課外活動

学生会、体育会から文化会に至るまで、さまざまなジャンルのクラブやサークルが、両キャンパスで活動しています。



13 資格取得

本学では、学生のスキルアップのために必要となる資格取得に対して、さまざまなサポートを用意しています。



帝塚山学園特別褒賞金制度 給付

在学中に公的資格を取得するなどのすぐれた実績をあげた学生を表彰し、一層の研鑽を奨励することを目的として褒賞金を給付する制度を設けています。

Aランク 20万円	Bランク 10万円	Cランク 5万円	Dランク 3万円
4講座に適用	2講座に適用	3講座に適用	2講座に適用

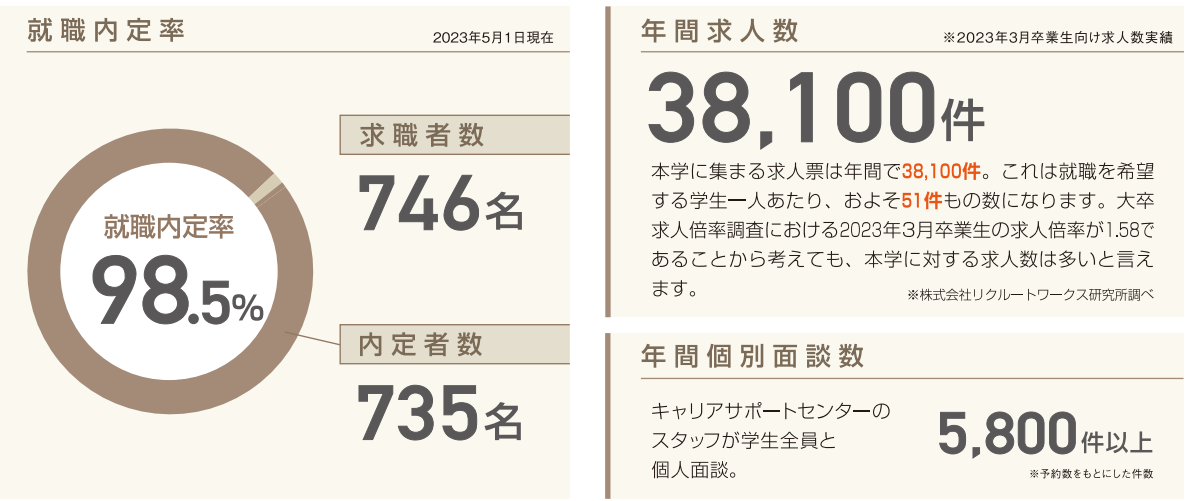
「帝塚山学園特別褒賞金制度」支給状況(2022年度)

国税専門官試験 合格(Bランク)…1名
教員採用試験(都道府県・市)(中高) 合格(Bランク)…3名
宅地建物取引士資格取得(Cランク)…8名
2級ファイナンシャル・プランニング技能検定 合格(Cランク)…3名
日商簿記2級合格(Cランク)…6名

14 就職

キャリアサポート

キャリアセンターを主軸に、教員や職員、先輩学生や卒業生が連携して、幅広くキャリアサポートを展開。高い就職内定率は、学生自身の意欲と熱意を、大学が一丸となって支えてきた実績の証です。



卒業後の進路

2022年度 学部・学科別主な就職内定先企業

文学部		経済経営学部	
日本文化学科		経済経営学科	
東京都教育委員会	積水ハウスリフォーム(株)	大和ハウス工業(株)	富士通ITマネジメントパートナー(株)
宮崎県教育委員会	近鉄保険サービス(株)	(株)南都銀行	日本郵便(株)
(独)高齢・障害・求職者雇用支援機構	(株)南海国際旅行	近鉄不動産(株)	奈良県農業協同組合(JAならけん)
(一社)日本自動車連盟(JAF)	文化シヤッター(株)	シャープマーケティングジャパン(株)	奈良県警察本部
京都府警察本部	帝塚山大学大学院 人文科学研究科	ダイキン・コンシューマ・マーケティング(株)	(独)高齢・障害・求職者雇用支援機構
法学部		心理学部	
法学科		心理学科	
警視庁	森町役場	(株)LITALICO	(株)オービックビジネスコンサルタント
奈良県警察本部	(一社)日本自動車連盟(JAF)	(株)ジェイアール西日本総合ビルサービス	旭情報サービス(株)
大阪府警察本部	三菱UFJ不動産販売(株)	シャープマーケティングジャパン(株)	日総工産(株)
福井県警察本部	ダイワボウ情報システム(株)	プリヂストーンタイヤサービス西日本(株)	大阪府庁(福祉職)
国税庁(大阪国税局)	(株)南都銀行	(株)アイル	朝日生命保険相互会社
現代生活学部		教育学部	
食物栄養学科	居住空間デザイン学科	こども教育学科	
奈良県教育委員会(栄養教諭)	積水ハウス(株)	奈良県教育委員会	
田辺市役所(管理栄養士職)	大和ハウス工業(株)	京都府教育庁	
(株)たねや	東建コーポレーション(株)	川崎市教育委員会	
(株)蓬萊	大木建設(株)	福岡県教育委員会	
エームサービス(株)	積水ハウスリフォーム(株)	京都市教育委員会	
(株)LEOC	住友林業ホームテック(株)	愛媛県教育委員会	
社会医療法人高清会 高井病院	株式会社NITTOH	堺市教育委員会	
医療法人恭昭会 彦根中央病院	高松建設(株)	北海道教育委員会	
社会医療法人畿内会 岡波総合病院	(株)ノダ	滋賀県教育委員会	
社会福祉法人 伊賀市社会事業協会	(株)池下設計	愛知県教育委員会	

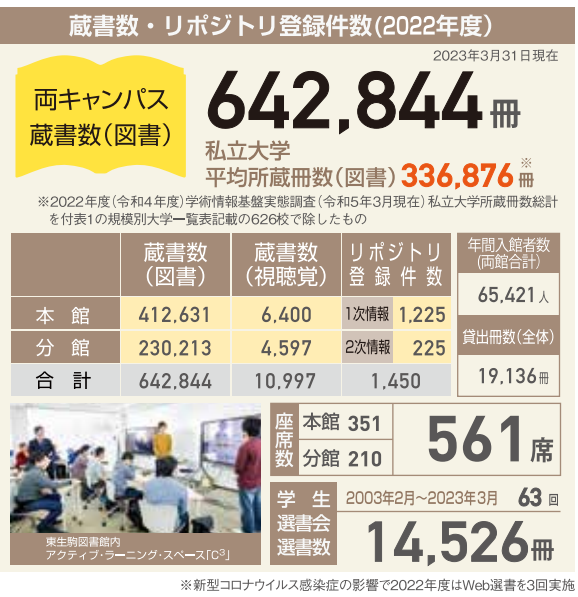
15 学術・情報

図書館

東生駒キャンパスに本館、学園前キャンパスに分館を設置しています。
本館は、帝塚山学園創立40周年記念事業として、1978年7月31日に開館。分館は、2000年、帝塚山短期大学が帝塚山大学に組み込まれたことに伴い、大学に編入されました。



学生選書
図書館に置いてほしい本を学生自身で選ぶ「学生選書会」は、2002年度にスタートしました。年に3～4回の開催で、2022年度までに63回の実施を数えます。2023年度からはWeb選書も行われ、これまでに14,526冊もの多岐にわたるジャンルの書籍が学生によって選書されています。



情報

教育研究ネットワークシステム「TUNE」
教育研究ネットワークシステム、TUNE(Tezukayama University Network Evolution)は、1998年4月に東生駒キャンパスに、1999年9月には学園前キャンパスに導入されました。2023年5月1日現在、設置しているPCの台数は、両キャンパスで約1,200台。VectorWorks、SPSS、Adobeなど専門分野に応じた25種の有償ソフトを含む46種のソフトが、両キャンパスのPCで利用可能です。

授業支援システム「TALES」
2018年からeラーニングシステム「TALES」(Tezukayama Active Learning Education Square)を運用しています。TALES上では、オンライン会議やチャット等ビデオコミュニケーションが可能な「Zoom」、オンデマンドでもリアルタイムストリーミングでも利用できる動画配信システム「Vimeo」などにも対応しています。また、講義資料の配信、小テストの出題、レポート提出などの機能も備えており、学生の自学自習ツールとしてだけでなく、教員のアクティブ・ラーニング形式の授業にも活用しています。

附置研究所・附属博物館・センター

最新の考古学研究成果を発信

考古学研究所

飛鳥時代以降を対象とした考古学の研究を進め、成果を刊行物で発表。研究会やシンポジウム、遺跡探訪も開催しています。

活動実績はP10へ>

日本有数の瓦コレクション

附属博物館

奈良県で2番目に開設された大学附属博物館で日・中・韓の古代瓦を多数収蔵。学芸員の資格取得に必要な博物館実習が学内でできます。

活動実績はP10へ>

心の問題における地域貢献の場

心のケアセンター

大学院教育の実践と研究、また心の問題における地域貢献の場として開設。公認心理師、臨床心理士の教員が常駐しています。

活動実績はP10へ>

地域の子育てを総合的にサポート

子育て支援センター

子育て相談のほかに「つどいの広場」「親子教室」など多彩な子育て支援事業を展開。学生や教員の教育研究の場でもあります。

活動実績はP10へ>

「奈良学」に基づき日本文化を研究

奈良学総合文化研究所

文化的・歴史的・社会的事象から奈良を見る「奈良学」に基づき日本文化を研究。公開講座やシンポジウムも開催しています。

自然・社会・情報環境を研究

人間環境科学研究所

自然環境、社会環境、情報環境などの専門家がお互いの領域を超えて学際的に研究。シンポジウムで研究成果も発表します。

国内外の研究者による講演も実施

経済経営研究所

経済学、経営学の観点から社会問題を取り上げ研究。研究者を招いて講演会を開催するなど学術的な交流も活発です。

考古学研究所

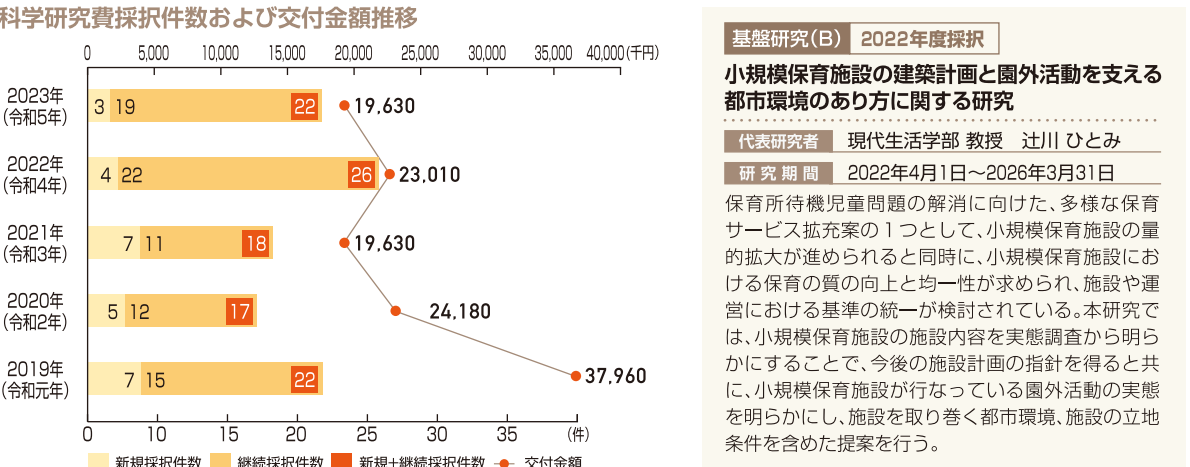
附属博物館

16 研究

科学研究費

日本の学術振興のために文部科学省が支給する2023年度(令和5年度)の科学研究費の新規採択は**3件**、新規＋継続の採択件数は**22件**。交付金額は**19,630,000円**です。

● 本学では、学内で応募書類作成の説明会を行うなど、科学研究費獲得のためにきめ細かくサポートしています。



紀要 出版会

帝塚山大学出版会は、本学の研究・教育とその成果の発表を助成し、学術関連図書及び教科書の刊行・頒布を目的として、2006年に設立されました。これまでに、さまざまな研究分野の学術書や教科書などを発行し、2023年現在、**32タイトル**の書籍を刊行しています。

良質の研究が良質の教育に結びつくという考えのもと、本学では、研究成果の公開のために、開学した1964年から紀要を発行しています。2023年現在、学部・研究科などから公開しているのは**15タイトル**(電子ジャーナルが7タイトル)。うち、『帝塚山大学文学部紀要』は、開学時初刊の『帝塚山大学紀要』の流れをくむものです。

自治体・企業・各種団体との連携協定

本学は、地域に開かれた大学として、地域の自治体・産業界と積極的に連携を図っています。大学の知的・人的資産を地域に還元し、学生を地域連携活動に参画させることで、地域の活性化に寄与することを目標としています。

自治体		教育委員会
奈良県	五條市	交野市教育委員会
奈良市	香芝市	
生駒市	北葛城郡河合町	
明日香村	三郷町	奈良市教育委員会
山添村		
企業		大学
株式会社南都銀行		多摩大学
株式会社近鉄百貨店	※近鉄文化サロン文化事業	
株式会社日本政策金融公庫		奈良教育大学 ※教員養成
SBI FX トレード株式会社		
SBIリクイティティ・マーケット株式会社		
独立行政法人都市再生機構(UR都市機構)西日本支社		大阪電気通信大学

公的機関ほか	
奈良県立民俗博物館	公益財団法人 古都飛鳥保存財団
大阪府立子どもライフサポートセンター	生駒市商工会議所
大阪府中央子ども家庭センター	生駒市観光協会
高知医療センター	奈良県中小企業家同友会
奈良県立図書情報館	全国「道の駅」連絡会
奈良市観光協会	

17 地域連携

公開講座

帝塚山大学は、地域社会への「教育研究成果の還元」を目的として、また、広く社会に開かれた大学として、学びたい意欲を持つ社会人や地域の人々を対象としたさまざまな生涯学習の機会を用意しています。

公開講座は、文化、経済、社会など、本学の教育研究分野に関連するジャンルを幅広く取り上げています。

2022年度で35年目を迎える生駒市図書館との連携講座など、地域の方々から長く愛される講座が多いのも特長です。

施設の開放

地域の「知の拠点」として、本学は、所有する知的資源や施設の一部を開放し、地域の文化向上をめざしています。

附属博物館・考古学研究所



学生に活用すること、そして地域に開かれた大学として社会に広く開放することを目的に、2004年4月に奈良県で2番目の大学附属博物館として開設されました。約7,850点に及ぶ古代瓦を中心に、貴重な資料を広く一般に公開しています。学芸員の資格取得に必要な博物館実習も当館で実施することができます。

年間利用者数 ()は学外利用者数

2022	(988)	3,902
2021	(710)	3,434
2020	(469)	1,319
2019	(2,643)	4,479
2018	(3,449)	4,556

瓦所蔵数 約 **7,850** 点

日・中・韓の幅広い年代・種類の瓦を収蔵。調査・研究に活用するとともに一般に公開もしている

公開講座・展示

講座名	開始年度	回数	参加者総数
市民大学講座	1997年	498回	56,531人
歴史考古学研究会	1997年	221回	4,402人

常設展示以外にも、所蔵資料をさまざまなテーマで展示

展示種類	開始年度	回数
企画展示	2008年	16回
博物館実習生による企画展示	2009年	15回
特別展示	2004年	40回



心のケアセンター 子育て支援センター(まっぽっくり) 図書館(本館・分館)

地域の人々の心の健康に関する相談施設として、2006年11月に学園前キャンパスに開設。年間1,500人もの相談者が訪れる地域のこころのケアの拠点です。初回面談料が無料となる無料相談週間を設けているほか、親子で参加できるグループ活動なども実施。また、当センターは、公認心理師(国家資格)および臨床心理士養成第1種指定大学院の研修機関も兼ねています。

子育て支援センターは、2009年4月の現代生活学部こども学科の開設に伴い、地域の子育てを総合的にサポートする施設として学園前キャンパスに開設され、2020年4月より、大学附置の施設として活動しています。子育て相談のほかに、「つどいの広場」や「親子教室」など、地域の人々が参加できるイベントも多数実施しています。また、当センターは、学生や教員の教育研究の場としても活用されています。

帝塚山大学図書館では、学習および学術研究に役立てていただくために、本館・分館とも地域の人々の利用に供しています。(但し、利用には要登録及び年間利用料。また、利用サービスに制限あり) 図書館が所蔵する貴重資料を展示、公開する「貴重書展」や館内施設のアクティブ・ラーニング・スペース「C³」での公開講座など、一般を対象にしたイベントも開催し、生涯学習施設として、地域の学術的な交流拠点の役割も果たしています。